博多ものがたり

第72号

博多情緒たっぷりにお菓子のロマンを伝えます

株式会社 明月堂

市ナダンナものがたり

上川端商店街は商店街としての役割だけでなく、
博多の伝統行事を守り伝える重要な役割を担っています。

日本一、甘いぜんざいと謳われる

川端ぜんざい

「ぜんざい」は川端の心。
小餅の入った甘い甘いぜんざいは、
昔ながらの博多の街のよき時代を
思い出させてくれます。

博多名物「川端ぜんざい」は戦前戦後を通し、全国に名が知れるほど親しまれています。

商品番号 2811

川端ぜんざい

3袋入 1,620円(税込)

※卵・乳・小麦等は使用しておりません。
※レトルトパック入り。　※餅は個装パック入り。

詳しくは16ページをご覧ください。

令和になりさらに活気づく

上川端商店街

上川端商店街は、博多を語る上でなくてはならない商店街。戦前から栄え、昨今では海外からの観光客も増え、さらなる賑わいを見せています。今回は、上川端商店街でのちょっとした楽しみ方、上川端通（上川端商店街）の八番山笠、そして、隣接する櫛田神社のお多福面を紹介します。

博多商人の心意気を今に伝える 上川端商店街

博多川沿いに南東から北西に約四百メートル。百二十店以上の個性的な店舗が軒を並べる上川端商店街。十一月なかばのせいもん払いが始まると、博多の町もそろそろ冬支度が始まります。商店街で買い物などをしながら通り沿いを進んでいくと見えてくるのが明治通り。そこにも、「博多リバレイン」や「博多座」など楽しい時間を過ごせる施設が並び、中洲大洋映画劇場を過ぎて那珂川を渡ると天神に到着します。

上川端商店街は、年間を通じて行われる様々なイベントに合わせたデコレーションが行われ、「せいもん払い」のときは、赤や紫の三角旗に彩られ、多くの人で賑わいます。

せいもん払いの抽選会の様子
（写真提供／上川端商店街振興組合）

クリスマスセール期間の商店街
（写真提供／上川端商店街振興組合）

商店街での節分の様子
（写真提供／福岡市）

商店街とともに
長い歴史を刻む明月堂川端店。

多種多彩な店舗が揃う 上川端商店街

古くから創業している店舗に混じって、今流行の店舗が数多く軒を並べる上川端商店街。新旧の店舗がその魅力を発揮することにより商店街として活気に溢れ、ただ通りを散歩するだけでも楽しむことができます。平均通行客は平日で一万二千人、休日ともなると二万五千人が訪れ、国内にとどまらず、海外からの観光客で賑わいます。

視線を少し上に上げると、「博多弁番付」と銘打たれた大きな垂れ幕が視界に飛び込んできます。長谷川法世さんのイラストとともに博多弁が一言ずつ紹介されており、この垂れ幕を眺めながら歩いてみるのも一興かも知れません。

垂れ幕に博多弁が一言。長谷川法世さんのイラストとともに面白おかしく紹介されており、商店街を歩きながら博多弁を学べます。

◀スケールが大きく豪華絢爛な走る飾り山笠・八番山笠。2019年(令和元年撮影)。

また、上川端商店街といえば、博多を代表する祭り「博多どんたく港まつり」で博多松囃子の行列が行進する通り。また、上川端商店街が位置する上川端町は八番山笠(「博多祇園山笠」)を構成する町となっており、博多の祭りにはなくてはならない商店街になっています。

八番山笠と上川端商店街

博多祇園山笠には、七流の舁き山笠の他に一九六四年(昭和三十九年)に誕生した八番山笠があります。時代は遡りますが、明治時代の山笠は高さ十数メートルに及ぶ巨大なものでした。そのスケールの大きい山笠を受け継いだのが飾り山笠で、さらにそれを走らせたのが八番山笠、通称「走る飾り山笠」です。

追い山笠を走り終えた八番山笠は、上川端商店街の川端ぜんざい広場に約一年間展示されます。川端ぜんざい広場は商店街の中にあり、その名の通り「川端ぜんざい」を楽しめる休憩処です。かつて日本一甘いと言われた川端ぜんざいは、一九八五年(昭和六〇年)に一旦看板を下ろすことになりましたが、その味わいを懐かしむ博多っ子の声に、商店街が応えて復活。当時よりやや甘さをおさえた川端ぜんざいを明月堂が試行錯誤を重ねて商品化しました。

上川端商店街
〒812-0026 福岡市博多区上川端町

「ぜんざい広場」では丸いもちが使われ、商品化された明月堂「川端ぜんざい」では四角いもちが使用されています。
川端ぜんざい広場。金・土・日・祝とイベント開催時にオープンします。

櫛田神社 冬の風物詩

晩秋から冬にかけては、博多の街に賑わいを呼ぶ「せいもん払い」(十一月十五日~十一月二十日)が行われ、正月の「初売り」では干支にちなんだ商品や福袋が店頭に並びます。十一月下旬になると上川端商店街に隣接する櫛田神社に日本一大きな「お多福面」が登場します。高さ5・3メートル、幅5メートル。この巨大お多福面は一九六一年(昭和三十六年)から節分の前後に設置されています。お多福面は、神職と氏子青年会のメンバーなど約二十人で組み立てるとのこと。楼門、北神門、南神門の三箇所に設置され、大きく開いた口の中を潜り抜けると商売繁盛や家内安全などのご利益に預かることができるとか。

二月三日に開催される節分大祭は江戸時代末期から続いており、当日、境内に放たれた赤鬼・青鬼に抱きつかれると、厄落としになるといわれています。

「お多福面」。
A楼門 B北神門 C南神門

深ふくおか探訪録

博多の街とともに発展し続ける JR博多駅

九州の玄関口であり九州最大規模の駅として多くの乗客に利用されている博多駅。今回は、お子さんも楽しめる博多駅屋上の見所やJR九州が力を注ぐ洗練されたデザインの列車を紹介します。そして、今年四月、JR九州博多駅長に就任された中野幹子さんとの語らいの時間を設けていただき、博多の街の魅力や、とっておきのスポットを教えていただきました。

JR博多シティによる華麗なイルミネーション「光の街・博多」は2020年(令和2年)1月7日(火)(時間:17時～24時)まで行われており、幻想的なひとときを楽しむことができます。
写真は2018年(平成30年)12月に撮影したものです。(写真提供／九州旅客鉄道株式会社)

「つばめの杜ひろば」は屋上の憩いスポット

毎日、博多駅を利用する方でも屋上を訪れた方は少ないかもしれません。博多口のJR博多シティ「アミュプラザ博多」の10階からさらにエスカレーターを利用して「つばめの杜ひろば」へ。新幹線「つばめ」の名を冠した「つばめの杜ひろば」で、まず目に入るのがかわいらしい「つばめ電車(くろ電車)」。ゆっくりとした速度で広場の約半分のスペースを二周します。電車を横目に前に進むと前方左手に三本の支柱が見えてきます。これは旧博多駅ホームで使用された貴重な遺構です。さらに前方に見えるのが鉄道神社の鳥居。この神社は同じ博多区内の住吉神社から分祀された由緒ある神社です。さらに前方に進み見えてくるのが九州の形をした土台の上で七人の子どもが列車ごっこをして遊ぶ「縁結び七福童子」。見所はまだあります。階段を上ってウッドデッキに出ると、「大博通り」や福岡の街並みや博多湾、遠くの山をパノラマで一望でき、夜景の素晴らしさも話題になっています。入場は無料ですので、電車の待ち時間などに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

ホッとくつろげるJR博多駅屋上の「つばめの杜ひろば」。(営業時間／10:00～22:00(冬季(1・2月)は21:00まで)入場は無料ですが、「つばめ電車(くろ電車)」の乗車には、大人も子供も、200円の運賃が必要です。車両デザインは水戸岡鋭治(みとおかえいじ)さん。

◀お忙しい中、インタビューに応じていただいたJR九州博多駅長の中野幹子さん。

思わず乗りたくなる撮りたくなるお洒落な列車

JR博多駅を走る列車はどれもお洒落で上品な雰囲気が漂います。これらの列車を生み出しているのが工業デザイナーとして世界的にも有名な水戸岡鋭治さんです。水戸岡さんとJR九州との関わり合いは深く一九九〇年代から始まります。一躍注目を浴びたのは、一九九二年(平成四年)の787系電車「つばめ」。ブルーリボン賞やブルネル賞といった鉄道関連の賞にとどまらず、グッドデザイン賞も受賞し国内外から高い評価を得ました。以来、令和の時代になっても、そのデザインは注目を浴び、全国の鉄道ファンの注目の的になっています。

運行開始から話題の列車といえば、豪華寝台列車「ななつ星in九州」でしょう。高価な旅行代金にもかかわらず、人気の為、現在もお申込いただいた中から抽選が行われています。

列車ファンにはうれしい博多駅の穴場スポット

今年四月、JR九州博多駅長に就任された中野幹子さん。JR九州博多駅初の女性駅長として話題になりました。「お客様から美味しいお店や道順、観光スポットなど様々なことを質問されますので、日頃からの知識の習得が欠かせません。博多は九州の玄関口ですが、今では海外から博多を訪れ生活する人も多く、国際色豊かな独特の文化を形成しているところが面白いですね。博多駅構内に話しを移しますと、意外と知られていないとっておきの場所があります。『JR博多シティ3階改札口』から中へ入ります(入場料一五〇円が必要です)と、その壁面がガラスになっていてガラス越しに各ホームに到着・発車する在来線や特急電車を眺めることができます。カフェも併設されており、楽しい空間です」。

「つばめの杜ひろば」やカフェ(「カフェ ネスカフェ博多」営業時間/九時半~二十一時)など、探していくと、まだいろいろと面白い場所が見つかりそうです。

A 現在の博多区祇園町にあった二代目の博多駅(博多停車場)で、1909年(明治42年)から1963年(昭和38年)まで半世紀以上にわたり使用された支柱です。

B この鳥居の先にも、鉄道神社本殿に向かう参道に星門、福門、夢門の鳥居が建っています。

C 薮内佐斗司(やぶうちさとし)さん作による「縁結び七福童子」には、「九州七県が力を合わせる」という思いが込められています。博多口にも同形のブロンズ像がありますので探してみてください。

D 800系新幹線。(写真提供/九州旅客鉄道株式会社)

E 特急「ゆふいんの森号」。(写真提供/九州旅客鉄道株式会社)

F 眺望と走る豪華寝台列車「ななつ星in九州」。(写真提供/九州旅客鉄道株式会社)

G 「ななつ星in九州」の列車内は豪華そのもの。車内の装飾には、伝統工芸の「大川組子」が使用されています。(写真提供/九州旅客鉄道株式会社)

写真4点の車体及び車内デザインは全て水戸岡鋭治さんによるものです。

在来線ホームの上に位置し、ガラスの壁面から列車を見ることができます。駅構内や写真の支柱の白タイルに描かれている青い絵柄は、日本画家で芸術家兄弟の一人としても知られる千住博さんと水戸岡鋭治さんの監修のもと一般の方々が描いたイラストを焼き付けたもの。1人1人思いを込めて描いたイラストは1枚として同じものはなく、JR博多駅を彩るアート作品になっています。

JR博多駅
福岡市博多区博多駅中央街1-1

発見すると幸せになれるという「金のカエル」。こちらもどこにあるか探してみてください。博多口の「縁結び七福童子」に近い場所にあります。

深発見ふくおか その六十五

博多の老舗紹介

博多 老松

中洲中島町は、一六〇〇年（慶長五年）、黒田長政が筑前入国後、那珂川下流の中州を整備し誕生した町です。江戸時代後半には、藩が繁華街を建設。芝居小屋や歌舞伎の興行などでにぎわい、中洲発祥の地といわれています。今回は、中洲中島町で長年にわたり料亭文化の火を灯し続ける「博多 老松」を紹介します。

天神からほど近い場所にあり、凛とした佇まいを見せる「博多 老松」。博多の料亭文化を今に受け継いでいます。

戦後すぐに再建され博多の料亭文化を支える

「博多 老松」は昭和初期の一九二七年（昭和二年）創業。しかし、一九四五年（昭和二〇年）の福岡大空襲で建物は全て焼失してしまいます。戦後、一九四七年（昭和二十二年）、京都、奈良、石川、輪島などから職人を呼び寄せ、現在まで続く数寄屋造りの店舗を再建しました。

老松という店名は、江戸時代、浄瑠璃から出た三味線音楽の流れを汲む清元の名手で芸妓出身である初代女将の源氏名に由来しています。

趣向を凝らした数寄屋造りの料亭

戦後、再建を果たした創業者・上野浪男氏は建物に造詣が深い人物でした。「数寄屋造り」の「数寄」

静かな雰囲気の玄関。（写真提供／博多 老松）

数寄屋造りの粋が凝縮された石畳の玄関アプローチ。中央の灯篭は、2005年（平成17年）3月に発生した福岡県西方沖地震で倒壊したものに代わり、近年設置されたものです。

◀「博多 老松」では、大小合わせて8つの座敷があり、それぞれ趣の異なる意匠が施されています。写真の「菊の間」は博多川を見下ろす8名様前後向きの座敷。中洲中島町出身の洋画家 児島善三郎画伯の描いた衝立が瀟洒（しょうしゃ）な雰囲気を醸し出します。（写真提供／博多 老松）

とは和歌や茶の湯、生け花など風流を好むことですが、「博多 老松」にもそのような風流を愛でる上野氏の美意識が随所にちりばめられています。

大小八つの趣のある座敷が用意されており、結納、法事、結婚記念日、お宮参り、また、商談などあらゆる用途で博多の人々に利用されています。

座敷では芸妓による唄と踊りが披露されることもあり、季節の洗練された料理を味わいながら博多の伝統芸能も堪能でき、特別な一日を過ごすことができます。

※昼の部、夜の部、全ての座敷は二名から予約可能です。

博多券番の芸妓による唄と踊り。
写真はイメージです。博多 老松で撮影された写真ではありません。（写真提供／博多券番）

職人の技が冴える 五感で味わう料理

旬の素材を活かした料理は洗練された味わい。冬は、ふぐが美味しい時期ですが、博多っ子にとっては「博多雑煮」が恋しい季節です。正月に欠かせない料理で地方ごとに作り方や具材が異なるのも雑煮の特徴といえるでしょう。「博多雑煮」はアゴ（トビウオ）と昆布で出汁をとり鰤（ぶり）やまる餅に、にんじん、大根、さといもなどの具材を使用。「博多 老松」では、エビなどの高級具材を使用し洗練された料亭料理として供されます。また創業九十年を超える「博多 老松」では、「博多雑煮とお正月のしきたり」と題した文化教養セミナーも開催しており、博多の食文化の伝承にも力を注いでいます。

料亭ならではの手の込んだ弁当も人気。バラエティに富んだ弁当は、岩田屋福岡本店でも買い求めることができます。

A海老や椎茸など山海の美味を盛り合わせた「博多 老松の雑煮」。（写真提供／博多 老松）
B正月の膳を華麗に彩るおせち料理「晴れ」。（写真提供／博多 老松）

博多 老松
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町4-1
TEL 092-281-2366
営業時間/昼の部／11:30～15:30　夜の部／17:00～22:00

C寒い季節にこそ、その味が冴えわたる「ふぐ刺し」。（写真提供／博多 老松）
D人気の料亭の味が楽しめる弁当「松花膳」。（写真提供／博多 老松）

「博多通りもん」の名前の由来

博多っ子の陽気な祭り「博多どんたく」

毎年、五月三日・四日に行われる博多どんたく。初夏の博多を彩る祭りとして、博多っ子に限らず日本中の人々に愛されています。

祭りのパレードでは、さまざまなグループが賑やかに演舞を披露します。その先陣を切るのが博多松囃子の二行で、これが博多どんたくの起源だとされています。

松囃子とは、室町時代の京都の年賀行事。人々が得意の芸能を演じながら街を練り歩いたものです。博多での松囃子は治承三(一一七九)年に始まったと、貝原益軒が筑前国続風土記に記しています。

博多松囃子はその後、さまざまな変遷を経て、洒落っ気の多い博多町人が無礼講のあいさつ回りとして発展させました。そして明治時代、一時禁止されていた博多松囃子を復活させる際に用いたのが「どんたく」という名称です。これは、明治時代の流行語であるオランダ語の休日「ゾンターク【Zondag】」がなまった言葉。以来、博多どんたくは〝西洋休日〟としても親しまれてきました。

昭和二十一(一九四六)年には、焼け野原の博多を「復興しようや!」の掛け声のもと、あり合わせの衣裳や楽器で瓦礫の道を行脚。このときの三味線や太鼓の響きが、復興への勇気を与えました。博多っ子にとって復興の証でもあるどんたくは、平成十七(二〇〇五)年の福岡西方沖地震の際にも、人々の心に希望の光を灯しました。

〜ぼんち　かわいや
ねんねしな
品川女郎衆は十匁
十匁の鉄砲玉
玉屋がかわい
スッポンポン〜

博多どんたくで唄われるお囃子

どんたくから名づけられた「博多通りもん」

しゃもじや三味線、笛や太鼓をうち鳴らし、面白楽しく、お囃子を唄ったり、踊ったり。どんたく衣裳に身を包んで、街を練り歩く人々の姿は、古くから「通りもん」と呼ばれ、今でもどんたくの名物として、祭りをおおいに盛り上げています。

ミルクの香りのするハイカラな衣裳で身を包み、餡がしっとり練りあげられた、明月堂のおまんじゅうは、まさに「博多通りもん」の名にぴったり。明月堂の西洋和菓子もまた、福岡・博多の名物として、多くの人に親しまれています。

モンドセレクション
19年連続金賞受賞
2007〜19年最高位
特別金賞を受賞

西洋休日
博多通りもん
SEIYO KYUJITSU
HAKATA TORIMON

「饅頭」と「博多祇園山笠」

博多に夏を告げる博多祇園山笠は、博多どんたくとともに福岡を代表する祭りです。

その起源は鎌倉時代、聖一国師（しょういちこくし）という僧侶が博多の地に流行っていた疫病を鎮めるため、施餓鬼棚（せがきだな）に乗って町にくりだし、甘露水（かんろ）（祈祷水（きとう））をまいたことだと伝えられています。

この聖一国師こそ、博多に饅頭を伝えた人物。明月堂のお菓子は、こういった博多の歴史や伝統、博多っ子の心意気に彩られています。

山笠は昇き山の他、美しい人形を高く飾り付けた「飾り山」もある。

博多にわかのお面

明月堂のお菓子には、博多の心がこもっとーね。

明月堂のお菓子には博多弁や博多の風物が
名前として使われていると聞いて、最初はびっくりしました。
そして、僕の中の博多っ子の血が嬉しく騒いだことを覚えています。
そんなわけで、明月堂のお菓子には愛着がありますね。
これからも、博多ならではの文化を伝える
お菓子をどしどし作ってもらって、
多くの人に博多のことを知ってもらえたらいいですね。

モンドセレクション 19年連続金賞受賞
'07〜'19年最高位 特別金賞を受賞

第40回(2001年)ポルトガル、第41回(2002年)フランス、第42回(2003年)ベルギー・ブリュッセル、
第43回(2004年)オランダ・アムステルダム、第44回(2005年)ベルギー・ブリュッセル、
第45回(2006年)チェコ・プラハ、第46回(2007年)スペイン・バルセロナ、
第47回(2008年)オーストリア・ウィーン、第48回(2009年)イタリア・ベニス、
第49回(2010年)ドイツ・フランクフルト、第50回(2011年)ベルギー・ブリュッセル、
第51回(2012年)ギリシャ・アテネ、第52回(2013年)スウェーデン・ストックホルム、
第53回(2014年)フランス・ボルドー、第54回(2015年)ポルトガル・リスボン
第55回(2016年)ハンガリー・ブダペスト、第56回(2017年)マルタ・バレッタ、
第57回(2018年)スペイン・バレンシア、第58回(2019年)イタリア・ローマでも連続受賞。

第23回全国菓子大博覧会お菓子の最高位賞
名誉総裁賞受賞

第24回全国菓子大博覧会お菓子の特別賞
茶道家元賞受賞(裏千家)

第25回全国菓子大博覧会
名誉総裁賞(技術部門)・橘花栄光章受章

第26回全国菓子大博覧会
茶道家元賞受賞(裏千家)・橘花栄光章受章

Bouzer Hasegawa
長谷川 法世
漫画家　はせがわほうせい

博多町家ふるさと館 館長
1945年福岡市博多区生まれ。
代表作は76年から8年間連載した
「博多っ子純情」。
NHK朝の連続テレビ小説
「走らんか」では原案を担当した。

傑作まんじゅう
博多通りもん

博多に伝わる和菓子の伝統に、生クリームやバターを始めとする西洋菓子の素材を取り入れた博多通りもんは、まさに博多っ子が愛する遊び心や洒落っ気を、その製法にこめた博多ならではのお菓子です。
博多を中心に福岡近郊で販売しております。

商品番号 1815
博多通りもん
16個入 1,960円(税込)

商品番号 1814
博多通りもん
12個入 1,480円(税込)

商品番号 1813
博多通りもん
8個入 980円(税込)

商品番号 1812
博多通りもん
6個入 730円(税込)

商品番号 1816
博多通りもん
24個入 2,960円(税込)

商品番号 1819
博多通りもん
40個入 4,720円(税込)

商品番号 1817
博多通りもん
32個入 3,920円(税込)

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。 ※卵・乳・小麦を含む

木箱入もございます。

商品番号 1818 博多通りもん
40個入／木箱 5,400円(税込)

博

多らしさにこだわる明月堂のお菓子は、その多くが博多になじみのある地名や方言、遊び、祭りなどをもとに名づけられています。そのひとつひとつのお菓子から、ほんのり博多の下町情緒が香ります。

【博多通りもん】
五月三・四日に行われる博多どんたく。市民の祭りに、どんたく衣装を身にまとい三味線、前太鼓でお囃子をする人達を「通りもん」といいます。

モンドセレクション

「金賞」19年連続、
「最高位特別金賞」
13年連続受賞

iTQi優秀味覚ランク

「三ツ星★★★」
2年連続受賞

味覚、包装、衛生などが優れたものに与えられる「モンドセレクション」を連続受賞している「博多通りもん」は、さらに、一流のシェフやソムリエにより「美味しさ」を審査・評価する国際的な味覚評価機関・iTQi（国際味覚審査機構）から、優秀味覚最高ランクの「三ツ星★★★」を2年連続受賞いたしました。

写真は詰笑恵3,240円(税込)です。
※季節により詰め合わせの内容が変わることがございます。
※包装形態が変わることがございます。

箱を開けると、
博多の歴史、文化、情緒が広がります。

博多西洋和菓子ぞろえ

詠笑恵（えいしょうえ）

箱を開けるとそこから、
昔懐かしい博多の方言や
人情味あふれる伝統、文化の
物語があふれ出してきます。
明月堂よりすぐりの
人気の博多西洋和菓子が、
四季折々の表情を見せ、
皆様を愉しませることでしょう。

【詠笑恵】
博多では、祝宴や酒宴で指名された方の合図で「祝い目出度」を唄いはじめます。その歌の中で、博多んもんの心意気を伝える、明るく力強い節回しや囃子が「エーイショーエ」です。

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

商品番号 1433
博多西洋和菓子詰め合わせ 詠笑恵
2,160円(税込)

商品番号 1432
博多西洋和菓子詰め合わせ 詠笑恵
1,620円(税込)

商品番号 1435
博多西洋和菓子詰め合わせ 詠笑恵
5,400円(税込)

商品番号 1434
博多西洋和菓子詰め合わせ 詠笑恵
3,240円(税込)

※卵・乳・小麦を含む ※季節により詰め合わせの内容が変わることがございます。※包装形態が変わることがございます。

モンドセレクション 連続金賞受賞

玉露の風味を
まるごと練りこんだ濃厚な味わい

博多玉露まんじゅう

ほのかに甘く、渋みが少ない福岡特産の八女茶。
「博多玉露まんじゅう」は、
そんな八女茶玉露の繊維をそのまま生かし、
皮にも餡にもたっぷり練りこみました。
生クリームもふんだんに使用しておりますので、
玉露風味のまろやかな味わいを楽しめます。

商品番号 2312
9個入 1,620円(税込)

商品番号 2311
6個入 1,080円(税込)

商品番号 2314
18個入 3,240円(税込)

商品番号 2313
12個入 2,160円(税込)

【博多玉露まんじゅう】
濃厚で特有の甘みがあり、渋みが少ない福岡特産の「八女茶」。
その八女茶発祥の地である奥八女の黒木町において丹精込めて育てられた「玉露」の生葉をペースト状にし、たっぷりと餡の中に練り込みました。

※卵・乳・小麦を含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

日本一、甘いぜんざいと謳われる

川端ぜんざい

商品番号 2801
1袋 500円(税込)

商品番号 2811
3袋入 1,620円(税込)

商品番号 2812
5袋入 2,592円(税込)

商品番号 2813
8袋入 4,104円(税込)

※レトルトパック入り。
※餅は個装パック入り。

【川端ぜんざい】
博多名物「川端ぜんざい」は戦前戦後を通し、全国に名が知れるほど親しまれています。

もっちり食感の皮と
小豆本来の旨味が愉しめる

どら焼めいげつ

博多よかばい

新商品

商品番号 0908
8個入 1,100円(税込)

商品番号 0912
12個入 1,650円(税込)

商品番号 0916
16個入 2,190円(税込)

【博多よかばい】
お口の中に広がる小豆あんの旨味を、もっちり食感の皮でそっと包みました。
博多の夜空に浮かぶ、まんまるお月様のような形の、可愛らしいサイズのどら焼です。

※卵・乳・小麦等は使用しておりません

※卵・小麦を含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

博多の歴史をお菓子に託したおまんじゅう
博多じまん

商品番号 1916
6個入 730円(税込)

商品番号 1943
8個入 980円(税込)

商品番号 1944
12個入 1,480円(税込)

商品番号 1945
16個入 1,960円(税込)

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

【博多じまん】
伝統の"博多じまん"といえば博多人形・博多織。七百七十年の伝統の歴史を織りこんだ博多織は、今もその美しさは変わらず、白い生糸からつくり出される"博多帯"は、さまざまな人から愛された逸品です。

※卵・乳・小麦を含む

博多の名物辛子めんたいを
パイに入れてパリッと焼き上げました。
秘伝のタレと薬味を加えたピリッとする辛さと
めんたいの豊かな風味をお楽しみください。

めんたいを入れて焼き上げた博多のパイ
博多っ子

商品番号 1212
6個入 730円(税込)

商品番号 1243
8個入 980円(税込)

商品番号 1244
12個入 1,480円(税込)

商品番号 1245
16個入 1,960円(税込)

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

【博多っ子】
ピリッと粋で、遊び心と洒落っけたっぷりの博多っ子。その博多っ子の気質がそのままお菓子になりました。

※乳・小麦を含む ※デザイン等が変更になる場合があります。

よもぎの香りと粒あんの甘さが
博多の野辺の思い出を伝えます

畔摘みもち

商品番号 1143
8個入 980円(税込)

商品番号 1144
12個入 1,480円(税込)

※卵・乳・小麦等は使用しておりません

国産のよもぎを
たっぷりと使った餅の中に
こだわりのあずき餡を入れて
作ったのが「畔摘みもち」です。
よもぎ餅の香りと味を
お楽しみください。

【畔摘みもち】
春の博多、那珂川の川辺や田圃の畔道には、若草色に芽吹いたよもぎが至る所に芽を出していました。昔は畔で摘んだよもぎで作った「草餅」を楽しみにしていました。

素焼つぼから
取り出した頃の昔懐かしい味

博多つぼ焼風 芋つぼ

商品番号 1643
8個入 980円(税込)

商品番号 1644
12個入 1,480円(税込)

【芋つぼ】
博多の駄菓子屋さんではその昔、素焼の壺の中に針金で吊した芋を入れて焼いた、ほっくりとおいしい焼芋(芋つぼ)を売っていました。

※卵・乳を含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

「やぶれ饅頭」は、昔より
博多の庶民の味として
こよなく愛されてきました。
その製法に習い、
粒たっぷりの「うぐいす餡」を、
山芋をふんだんに使った
「薯蕷（じょうよ）」生地で包んだ
お饅頭です。

うぐいす餡たっぷりの純和風蒸し饅頭

博多藪（やぶ）あん

商品番号 0443
8個入 980円（税込）

商品番号 0444
12個入 1,480円（税込）

【博多藪あん】

野山に住む鶯のことを「藪鶯（やぶうぐいす）」といいます。鶯豆を使った餡なので「藪あん」となりました。
また、昔は奉公人のお休みを「藪」といって楽しみにしていたことから、庶民の楽しみを、その味にこめたということにも由来しています。

※小麦を含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

卵白（メレンゲ）と
アーモンドプードルで作った口溶けの良い生地に、
珈琲（コーヒー）クリームをサンドした、
ちょっと大人の香りのするお菓子です。

ひと昔前の博多を偲ばせる
懐かしくてモダンな味わい

博多モダンカフェ

商品番号 0521
7個入 1,380円（税込）

商品番号 0522
14個入 2,760円（税込）

※気候により販売を控えることがございます。

【博多モダンカフェ】

ひと昔前の博多。街には赤レンガ作りの洋館やハイカラな喫茶店が立ち並び、人は洋風なスタイルに身を包んで歩いていた時代。そんなレトロでモダンな当時の面影を残す博多の街の風情を、お菓子に仕立てました。

※卵・乳・小麦・アーモンドを含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

かすていらをどら焼の皮で
丁寧にくるみました。
手間をかけた上品な
カステラけーきです。

どら焼の皮で包んだカステラけーき

西中洲貴賓館ろまんす

商品番号 0211
10個入 1,300円(税込)

商品番号 0212
15個入 1,950円(税込)

商品番号 0213
20個入 2,600円(税込)

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

【西中洲貴賓館ろまんす】

博多の中洲から福博であい橋で那珂川を渡ると見える建物です。昔の教育庁の跡で、明治・大正ロマンを偲ばせます。

※卵・乳・小麦を含む

発酵バターを使い、
より芳醇な香りと味に焼き上げました。
懐かしい風味の中に、新しいセンスを含んだ
きめ細やかな味わいを存分にご堪能ください。

伝統の技に現代の感性を折り込んだ

南蛮バターカステラ

蘭

商品番号 1011
9個入 1,400円(税込)

商品番号 1022
12個入 1,900円(税込)

商品番号 1013
18個入 2,800円(税込)

※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

【蘭】

「蘭」というのは「阿蘭陀(オランダ)」の略語です。〈博多どんたく〉がオランダ語の〈ゾンターク(休日)〉に由来するように博多とオランダとの縁にちなんで名付けました。

※卵・乳・小麦を含む

それは遠い昔、憧れの味。
ひと切れの母の優しさ。

明月堂かすていら

商品番号 0105
0.5号 5切×1パック
750円(税込)

商品番号 0106
1号 5切×2パック
1,500円(税込)

商品番号 0111
2号 5切×4パック
3,200円(税込)

【明月堂かすていら】
卵たっぷりのかすていらは、ほのぼのとした懐かしい味わい。しっとりとまろやかな風味が、お口の中に広がります。

※卵・小麦を含む

石臼挽き丸ぼうろ 筥崎ぽっぽ

商品番号 0321
18個入 1,458円(税込)

商品番号 0322
27個入 2,160円(税込)

商品番号 0323
36個入 2,916円(税込)

【筥崎ぽっぽ】
博多の伝統工芸品「博多曲物」は、筥崎宮の調達品としても用いられ、松竹梅と鶴亀を描いた脚つきの四角い祝い膳は「ぽっぽ膳」といわれています。さらに、そこに筥崎宮の鳩をイメージして「筥崎ぽっぽ」と名づけました。

※卵・乳・小麦を含む ※箱詰めの個数、金額等が変更になる場合があります。

博多にわかの
お面

筥崎八幡宮の鳩笛

津屋崎のモマ笛

太宰府天満宮のうそ

馬出の曲物

◎お申込み方法

明月堂 Web 博多ものがたり

明月堂のホームページにどうぞ。
※インターネットでのご注文はクレジット決済ができます。
http://www.meigetsudo.co.jp
E-mail info@meigetsudo.co.jp

明月堂サイト
トップ画面→

楽天市場
↓トップ画面

明月堂モバイルショップ

●ご注文専用

フリーコール

■電話による受付
(受付時間 午前9時～午後5時)
TEL 0120-158-127
または 092-411-7777(有料)

■ファクスによる受付
(24時間)
FAX 0120-105-867

お客様の郵便番号、住所、氏名、電話及びFAX番号を記入の上、当社にFAXしてください。

●お支払いは入金後発送又は代金引換

【入金後発送】
■銀行振込
西日本シティ銀行 福岡支店(当座)8843
(株)明月堂 宛
※振込手数料は、お客様のご負担となります。
※ゆうちょ銀行は 一七九店(当座)0079770

■郵便振替
01780-0-79770 (株)明月堂 宛
※振替手数料は、お客様のご負担となります。

■コンビニ支払
※弊社より専用の振込用紙をお送り致します。

商品のご発送

■代金引換
配達時に商品とお引き換えに、代金をお支払い頂く早くて便利なシステムです。

◎宅配便のご案内(税込)

北海道	2,000円	北陸	1,000円	中国	660円
東北	1,300円	中部	860円	九州	540円
関東	970円	関西	660円	沖縄	1,800円
信越	1,000円	四国	660円		

デパート

●天神岩田屋店 ・・・・・・(092)721-1111(代)
●博多大丸店 ・・・・・・・(092)712-8181(代)
●福岡三越店 ・・・・・・・(092)724-3111(代)
●博多阪急店 ・・・・・・・(092)461-1381(代)

直営店

●本社売店 ・・・・・・・・・・(092)411-7777
●川端店・・・・・・・・・・・・(092)281-1058
●博多駅マイング1号店・・・・・(092)441-6445
●博多駅マイング2号店・・・・・(092)477-1158
●博多デイトス1号店 ・・・・・・(092)441-0386
●博多デイトス2号店 ・・・・・・(092)474-2559
●イオンスタイル笹丘店・・・・・(092)761-2152
●サンリブ木の葉モール橋本店・(092)811-5778

直営店

●イオンマリナタウン店・・・・・・・・・(092)885-8103
●イオンモール福岡伊都店 ・・・・・・(092)805-8877
●ゆめタウン博多店 ・・・・・・・・・・(092)632-3121
●イオンモール香椎浜店・・・・・・・・(092)674-2522
●ハローデイ新宮店 ・・・・・・・・・・(092)963-5151
●イオン福津店・・・・・・・・・・・・・(0940)38-5118
●ゆめタウン宗像店 ・・・・・・・・・・(0940)33-0010
●サンリブくりえいと宗像店 ・・・・・・(0940)33-7000
●イオン福岡東店 ・・・・・・・・・・・(092)612-3088
●イオン福岡店 ・・・・・・・・・・・・(092)939-7277
●イオン大野城店 ・・・・・・・・・・・(092)589-4711
●ザ・モール春日店(西友春日店内)・・(092)595-0020
●ゆめタウン筑紫野店・・・・・・・・・(092)928-5556
●イオン筑紫野店 ・・・・・・・・・・・(092)918-3015

博多通りもんは下記売店でも販売しております。

福岡空港(国内・国際)取扱い売店
●福岡玉屋エアポートショップ店
●ANA FESTA 福岡空港売店
●BLUE SKY 福岡空港売店
●SOLAE 福岡空港売店
●博多土産 by 菊ひら
●福岡空港国際線売店
●福岡空港免税ショップ

ほか取扱い店
●博多駅構内売店
●博多バスターミナル売店
●新幹線乗り口売店
●高速道路売店 PA:基山 SA:広川・金立・古賀・山田
●天神バスセンター売店
●ふくや売店(一部)
●キャナルシティ売店
●福岡パルコ売店

※店舗により、取扱い商品が異なります。

MEIGETSUDO

株式会社 明月堂

〒812-0892 福岡市博多区東那珂2丁目11番23号
TEL092-411-7777 FAX092-411-7878
明月堂ホームページ http://www.meigetsudo.co.jp
E-mail info@meigetsudo.co.jp

博多通りもん 検索

2019.12-2020.2<第72号>
冬の博多ものがたりです